

子どもゆめ基金 20 周年記念事業  
令和3年度 国立中央青少年交流の家 教育事業

# 富士のさと わくわくキャンプ

開催要項



## 1. 趣旨

様々な年齢の子どもたちが、自分や他者と出会い、交流の家での体験活動、集団活動、宿泊などの実体験を通して、体験活動の素晴らしさや楽しさを感じ取るとともに、他者との関わりを通して人間関係形成能力向上のきっかけとする。

## 2. 主催

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家

## 3. 期日

令和3年9月11日（土）～12日（日）1泊2日【交流の家テント泊】

## 4. 会場

国立中央青少年交流の家

## 5. 対象

小学4～6年生

## 6. 募集人数

24名程度



## 7. 日程表

9月11日（土）		9月12日（日）	
Time	プログラム	Time	プログラム
12:30	受付	6:00	起床
13:00	はじめの会	7:00	朝食 (所内レストラン)
13:20	ワッ! WAA! 輪! (アイスブレイク)	8:00	基地撤収 (テント掃除・荷物整理)
14:00	チャレンジ・ザ・000 (交流の家内)	9:30	フィールドクッキング (交流の家内)
15:30	基地づくり (テント設営)	13:00	わくわくメモリアル (交流の家内)
17:00	夕食 (所内レストラン)	14:30	終わりの会
18:30	炎の集い (ナイトプログラム)	15:00	解散
20:00	シャワータイム		
21:30	就寝		

※天候状況等によりプログラムの内容を変更することがあります。

本事業の企画・運営は、当交流の家に所属する大学生等のボランティアが中心になって行います。現在、各プログラムの内容を検討中です。

当日は、参加者の活動をサポートいたします。

## 8. 参加費

2、500円（食費・シーツ等洗濯料・傷害保険料・雑費）

## 9. 応募期間・方法

令和3年8月1日（日）～8月8日（日）まで

右側のQRコードにより、お申込みください。

※応募者多数の場合は地域・学年・性別等を考慮し、抽選いたします。



## 10. 持ち物

参加費 筆記用具 着替え 帽子 水筒 タオル 常備薬（参加者自身で服用できるもの） 洗面用具（シャワー室に石鹸・シャンプー等の備え付けはありません） 雨具（カッパ）  
懐中電灯 軍手 虫除けスプレー マスク その他活動に必要なもの  
※シュラフ（寝袋）は無料で貸し出しいたします。

※受診が必要な場合、保険証をご持参のうえ、迎えに来ていただく場合があります。

### ☆服装について

動きやすく、汚れてもいい服装・帽子・運動靴（サンダル不可）が適しています。

（特にフィールドクッキングでは、やけどから身を守るため、長そで・長ズボンの着用を推奨）

標高707mのため、平地より冷え込むことがあります。就寝時は普段より一枚多めに（フリースなど防寒着として）衣服を用意してください。

## 11. その他（必ずご一読くださいますよう、お願いいたします。）

- （1）本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む）等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物に記事・写真を掲載することもあります。なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人（又は保護者）から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。
- （2）交流の家までは、保護者の送迎等による集合・解散をお願いいたします。また、「わくわくキャンプ」参加中に体調不良となった場合はご帰宅いただく可能性がございますので、参加期間中はお迎えに来られる準備をお願いいたします。
- （3）天候や新型コロナウイルス感染拡大の状況により、活動内容が変更または延期となる場合がございます。予めご承知おきください。
- （4）詳細な内容は、参加決定後に御案内いたします。不明な点はお気軽にお問合せください。

当事業は、

「教育事業編：新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」

（当施設ホームページに掲載）に則って運営致します。

必ずご一読いただき、ご理解いただいた上でお申し込みください。



### 《お問い合わせ・お申込み先》

国立中央青少年交流の家（担当：前田・渡邊・島田）

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑 2092-5

TEL：0550-89-2020 FAX：0550-89-2025

E-mail：fujinosato-kss@niye.go.jp

2015年の国連サミットで、全会一致で採択された2030年までの国際目標「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成を目指し、国立中央青少年交流の家は、率先して推進活動に取り組んでいきます。

